

原 著

放射線治療における誤照射事故防止に向けて

～放射線治療計画装置に登録されている基礎データの再検証～

中村康彦¹⁾, 佐々木健二¹⁾, 橋 猛¹⁾, 坂口美穂¹⁾,
鈴木貴之¹⁾, 村山茂康¹⁾, 天内 廣¹⁾, 竹林茂生²⁾,
小田切一将³⁾, 栗原須生美³⁾, 荻野伊知朗³⁾

横浜市立大学附属市民総合医療センター

¹⁾ 放射線部診療放射線技師, ²⁾ 放射線部医師, ³⁾ 放射線科医師

要 旨: 放射線治療計画装置 (radio-therapy planning system: RTPS) は, 患者への投与線量を決定する線量モニタ単位 (以下, MU 値) の算出に用いられている. 近年, RTPS への基礎データ登録ミスに起因した誤照射事故が国内で続発したことを受け, 当院の RTPS の算出 MU 値を検証した. その結果, 実測値は, AAPM レポート13タスクグループ24⁶⁾に示されている許容誤差範囲内であり, 当院の RTPS に登録されている基礎データ, 算出される MU 値は適正であることが証明された.

Key words: radio-therapy planning system (放射線治療計画装置), radiation accidents (誤照射事故), investigation of MU (MU 検証)